

OLとも美の坂田先生教えてシリーズ

第一回 「IT経営って何ですか？」

OLとも美
中小企業の総務部門に勤務。ITには詳しくないが、社長から社内のITを任せられた為、現在IT経営を猛勉強中！

ITコーディネータ 坂田岳史
中堅・中小企業のIT経営を支援・指導している！OLとも美さんの質問に的確なアドバイスをしているが、鋭い突っ込みには、たじたじ状態(;;)

先生、難しくすぎてよく分かりません。

ちょっと難しい表現だね。ちなみに、私はよく友人とカラオケに行くんだよ。お酒を飲みながら2時間歌うと、すごく気分いいね！

うーん、そうだね。IT経営については経済産業省が次のように定義しているんだ。

経済産業省のIT経営定義

経営・業務・ITの融合による企業価値の最大化を目指すこと

最近、IT経営という言葉をよく聞きますが、ITを使っていけばIT経営って言うのですか？

手作りだと大変！

例えば、今まで手作業だった販売業務の仕事を、販売管理システムを使い、効率化できるとね。その場合、システムというITを使って効率化できた事で満足してるんだよ。

システムで効率化！

私はカラオケ歌って楽しむだけだけど、一緒に行った友人は、ちやっかり最近の流行曲を練習して、会社の宴で女の子にモテモテだったそう。

先生カラオケ好きなんですか？

カラオケを戦略的に活用

歌うだけで満足

でも、それだと私のカラオケと同じで歌う事だけで満足している事と同じだね。同じカラオケを歌うにしても、友人のように工夫して使うと、もともとカラオケの効果も出るよね。

でも仕事の効率が上がれば、それだけで十分ですよ。

あ、そうか！単にシステムを入れて効率化するのではなく、もって工夫してより効果を出すことがIT経営なのですね。

そうなんだよ！例えば、京都の田中精工（製造業）という会社は外部の協力工場と一緒に製品を作っているんだけど、外部の会社は納期や品質などを自社でコントロールできない。そこで、インターネットを使った生産管理システムを作り外部の工場11社と共同で生産に必要な情報を共有してQCD（品質、コスト、納期）を向上させたんだ！

協力工場

協力工場

協力工場

発注情報など

インターネット

実績情報など

田中精工

協力工場11社と共に使える生産管理システム！

へーそんな取り組みをしている会社があるのですか？

田中精工は、単に生産管理システムを使うだけでなく、共同で使えるシステムを使って工程管理などのマネジメント力を強化したんだ。そのおかげで得意先からの信頼性も向上し、継続的な受注につながっている。

つまり、単にシステムを入れただけでなく、それを使って生産管理能力を向上させた。まさに、一歩進んだ上手い活用方法（戦略的なIT活用）と言えるね。

そして、この取り組みが認められて、IT経営力大賞2009で最優秀賞を受賞されたんだ。

田中精工株式会社
IT経営力大賞2009
最優秀賞受賞！

表彰される田中精工の田中社長

わー！最優秀賞ですか？すごーい！

ちなみに、経済産業省は難しいIT経営の定義を出しているけど、そんなに難しく考える事はないんだ。例えば、ホームページに工夫をして店舗集客に成功しているお店もある。そういうお店もやっぱりIT経営を実現していると思うよ。

要するに、単にシステムなどのITを導入するのではなく、より工夫して（戦略的に）受注を確保する、お店の集客を行うなどの効果を出す活動がIT経営なのですね。

その通り、だけど特に中小企業ではITの工夫や上手い活用方法（ITの戦略的活用）が分からない事が多い。そこで私は、その企業にあったIT活用方法を指導しているという訳さ。

よく分かりました！先生も、カラオケを戦略的に使って女の子にもっててくださいね。

苦笑